



吉美小だより

綾部市立吉美小学校
令和6年8月29日号

「人を大切にする」子ども・教職員のいる学校

<学校教育目標>

自立と貢献 ～夢をもち 仲間とともに 未来を切り拓く 子どもの育成～

<教育スローガン>

「笑顔・元気・夢いっぱい そして 思い合い」

二学期も

「人を大切」にし、「賢くなって」下校しよう!

40日間の夏休みが終わり、本日2学期の始業式を迎えました。

この夏は記録的な猛暑が続き（ここ数年毎年の言葉ですが…）、いつまで続くのか心配ばかりしています。長期予報では、10月いっぱい続くようなことも言っていました。1週間程すると、児童たちは9月29日の運動会に向けて練習を始めていきますが、暑さ指数（WBGT）を注視しながら、安全第一に練習を進めていきたいと考えています。

夏休み期間中は、ご家族の皆様、地域の皆様には、子どもたちをそれぞれの家庭・地域で見守っていただき、本当にありがとうございました。今日から2学期が始まりましたが、引き続き今学期も一学期同様、本校の教育の推進にご理解、ご協力をよろしくお願いします。

さて、本日の始業式では子どもたちに次のような話をしました。毎回、話しをすることは大きくは変わりません。「まず一つ目は」と言うと、子どもたちは「人を大切にする」と返してきます。

■2学期も「人を大切にする」児童・先生のいる学校にしていきたいと思います。

- ・あなたの行動や言葉は、人を「笑顔にする」ことも「悲しませる」こともできる。

■登校時より「賢くなって」「できることを増やして」下校しましょう。

- ・そのためにより具体的な明確な目標を決めましょう。

■命・健康を大切にしましょう。…熱中症予防

- ・運動会の練習に関わる話をしました。

二学期は転入生が2名あり（1.3年生）全校児童数が135名になりました。135名が「笑顔」で2学期が過ごせるようにしていきたいと思います。よろしくお願いします。

校長 塩尻竹弘

相手をリスペクトすることは・・・

夏休み期間中に、綾部市の教職員が一堂に会して「人権」の研修会がありました。2人の先生の実践報告があり、それに対する質疑応答の時間にハッとすることがありました。発表された先生が、フロアからの質問に対して応答するのですが、質問に対して（5つ程ありました）応答する際、その先生は毎回、

「〇〇先生、質問をいただきありがとうございます。」

「〇〇先生、自分の学級のことを思い出しながら聞いていただきありがとうございます。」

私は、何か自分がないものを見せてもらったようでハッとしました。以前、ある方とこんな会話をしたことがあります。「先生、差別の反対って何か分かるか?」「平等ですか。」「違う。尊敬や。」まずは、相手をリスペクトすることが、「差別のない社会」に繋がっていくものだと思います。相手の存在を認める名前（「〇〇先生」）を前置きされたこと、そして、お礼を言われたことは、この先生にとっては何気ない日常的な場面の一つだったのかもしれませんが、私にとっては、「これこそが人権教育である。」と思わせてくれた瞬間でもありました。